

令和2年8月24日 VOL.59

ちほめんNEWS

WITHコロナ POSTコロナ

企業支援の在り方・手法の

オンラインセミナーを開催！

日時：令和2年7月21日（火）15時～17時30分

【概要】

- 近畿財務局のちほめんメンバーは、新型コロナウイルス感染症を踏まえたオンラインセミナーを開催しました。
- このオンラインセミナーは、本年1月に開始した、「事業性評価とコンサルティング能力向上のための3回連続講座」の最終回という位置付けで、連続講座を2回開催した後、新型コロナウイルス影響拡大により延期としていた第3回目の講座を、オンラインで開催したものです。
- 講師は引き続き、追手門学院大学 経営学部長である水野浩児（みずの こうじ）教授にお願いしました。
- ただし、当初予定していた内容をそのまま実施するものではなく、水野教授に対し、新型コロナウイルスの影響に悩む事業者への支援が、金融機関にとって重要な課題となっているという問題意識を伝え、その内容を踏まえた講義としていただきました。

◆ 冒頭：主催者挨拶

はじめに、近畿財務局 理財部長の樽川から主催者として挨拶を行いました。

新型コロナウイルスの影響がまだ明確でない時期から、金融機関が顧客訪問を実施していたことや、実質無利子・無担保の融資制度にかかる体制整備など

を迅速に行っていたことなどに対し、敬意を表するとともに、感謝を述べました。そして、今回の連続講座のみならず、これからも、金融機関が金融仲介機能を発揮していくことに資するような支援を幅広く行っていききたいと述べました。



◆ 金融庁 日下 地域金融企画室長からのメッセージ



次に、第1回目に引き続き、金融庁 日下 地域金融企画室長から、新型コロナウイルスの影響を踏まえ、改めてメッセージをいただきました。

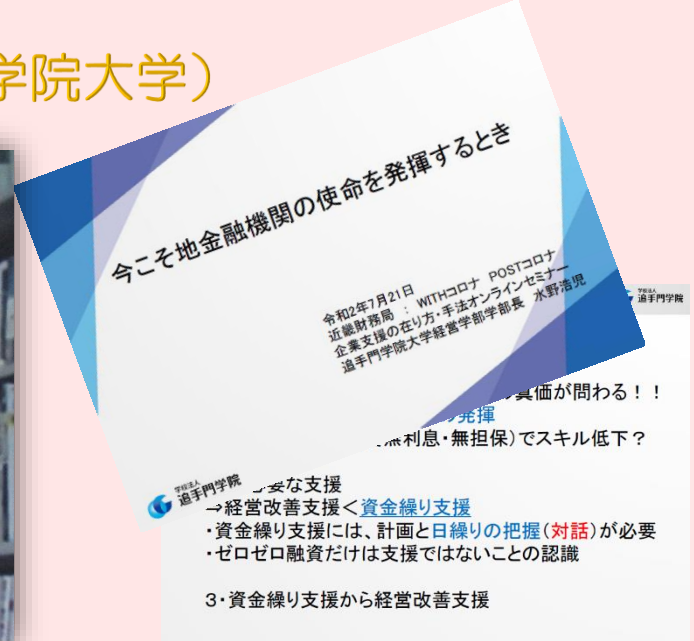
日下室長は、金融検査マニュアルが廃止となり、コロナ禍においては今までどおりの考え方では通用せず、今後は金融機関

自らが考えて事業者と相対する必要があるとし、旅館業を例に挙げ、事業性評価・コンサルティングの必要性について述べるとともに、今期の決算が出るまでの間に支援しなければならないと、強いメッセージをいただきました。

【メッセージ中、室長が紹介した地域金融サミットURL】

⇒<https://channel.nikkei.co.jp/e/reingsum2020a>

◆講義：水野教授（追手門学院大学）



- 第1回、第2回のアンケートでも、「水野教授の講義であればどのような内容でも聴きたい」と言われるほど、絶大の支持を得ている水野教授に、引き続き講師をお願いし、今回は、以下の内容で講義いただきました。
- 1部：「ゼロゼロ融資の後の地域金融機関の取り組み」
「運転資金支援対応と計画」
- 2部：「コンサルティングに必要な経営者目線でのヒアリング」
「ウィズコロナ・ポストコロナにおける
事業性評価（情報リテラシーの強化）」
- 1部では、資金繰り支援と対話の必要性を説き、日繰り資金繰り表の活用や、組織的支援の重要性（属人的支援の限界）について述べ、管理会計の考え方を改めて説明いただきました。
- 2部では、人材支援の必要性ということで、地域金融機関職員の意識改革と、これからの金融機関にとって、ITリテラシー強化は必須であると述べられました。
- 今回の水野教授の講義を受けて、参加者からは、「地域金融機関として、組織ぐるみで人材を育成することが、この前例のない危機的状況を取引先と共に乗り越えていくことに繋がる点、金融機関としての旧態依然とした意識を変革していく大きな転換点となる点に感銘を受けた」など、前回に引き続き大変高い評価をいただいています。

◆ 講師紹介

講師にお招きした、追手門学院大学 経営学部長・教授である水野 浩児（みずの こうじ）氏は、地方銀行出身であり、様々な金融機関、支援機関において事業性評価の研修を行っておられるほか、企業の社外取締役も担っておられ、当該分野において非常に深い知見をお持ちでいらっしゃいます。



◆ アンケート結果



今回のオンラインセミナーについて、参加者にアンケートを実施しました。その結果を報告します！

総合満足度 約93%

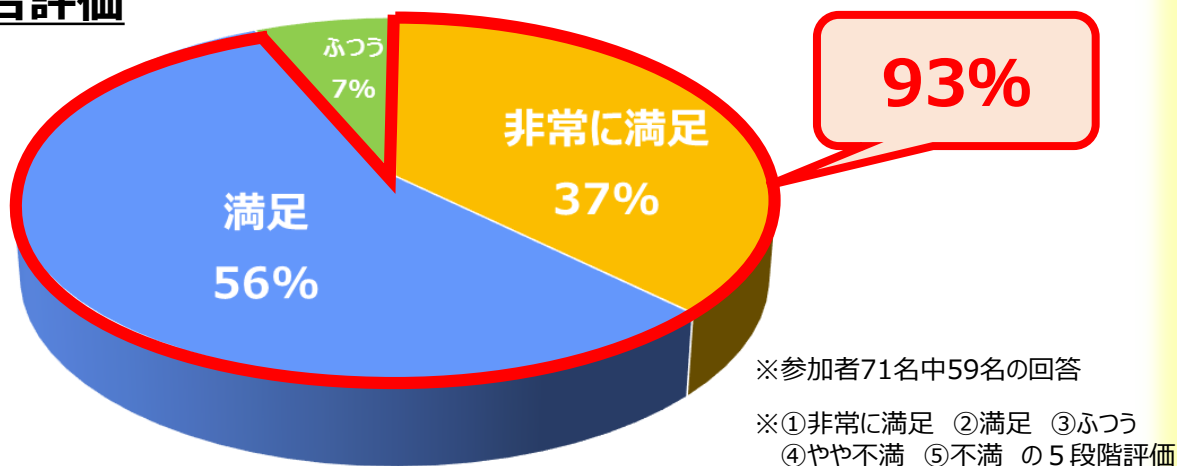
当初、全3回の連続講座の予定であったが、2回目の講座後に、金融機関を取り巻く環境が大きく変化したにもかかわらず、3回目の講座はタイムリーにテーマを変更頂き、実態に即した内容となった点が良かった。

講座内容は、コロナ禍におけるタイムリーなものであり、大変参考になりました。オンラインでの試みについても、移動時間の効率化が図れるなど、参加者にとってはメリットが大きいと感じました。

今回のセミナーは、中止となった「事業性評価連続講座（3回目）」とコロナ禍を踏まえた内容が合わさり、大変欲張りな内容でわかりやすくとてもよかったです。ZOOMで講義を受けるのは初めてでしたが、画像や音響も良くPowerPointなど画面の切り替えもスムーズでとても良かったです。2時間30分があっという間でした。

アンケートの中で、講座に対する「総合評価」を5段階（非常に満足、満足、ふつう、やや不満、不満）でお伺いしたところ、以下のとおり9割の方にご満足いただける結果となりました。

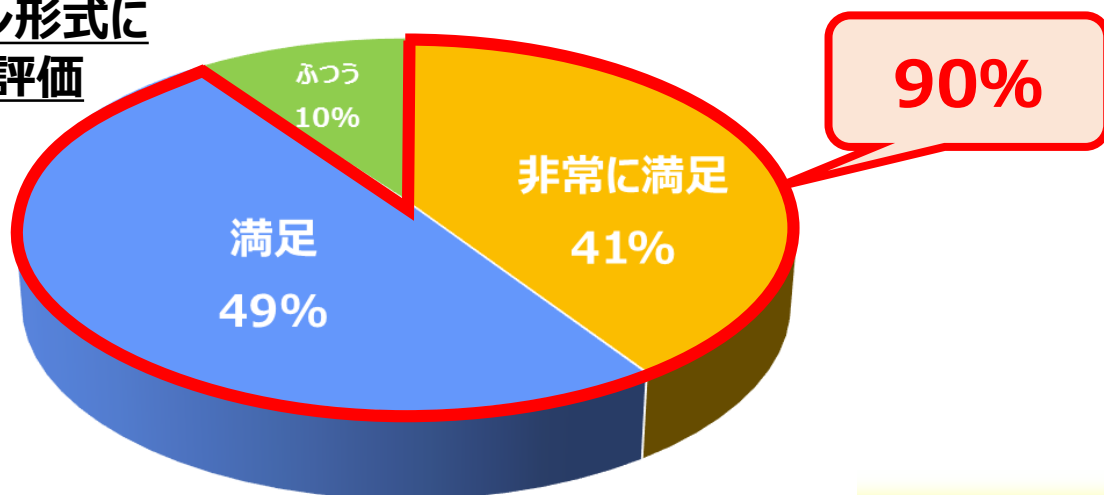
総合評価



なお、「ふつう」と回答いただいた方からは、「WITHコロナ」を踏まえた内容であったが、本来行われる予定であった第3回目の講義内容をそのまま受講したかったとして、可能であれば引き続きその内容での開催を希望されているものでした。

また、オンライン形式での開催については、はじめてZOOMをご利用される金融機関が多くあった中で、9割の方にご満足いただける結果となりました。具体的には、移動時間がないことや時間調整がしやすいといった声を多くいただきました。

オンライン形式についての評価



アンケートでは多くの前向きな評価や、今後への期待のコメントをいただきました！

今回の講座への主なコメント

- ✓ コロナ禍、コロナ後における支援のあり方や貸手責任のモラルハザード等について、順序だってわかりやすく説明いただいたので、**金融機関としてすべき事が明確にはっきり**と再認識でき、今後の実務に大変役立つと感じました。
- ✓ WITHコロナPOSTコロナにおける支援とは、資金繰り支援だけでは支援ではないことを認識して、資金繰り支援の後は経営改善支援が必要になること。**決して融資だけで終わってはいけない**ことを再認識しました。
- ✓ チャット活用（講師のチャットに対する返答など）がなされており、**オンラインならではのセミナー**となっていて面白かったです。
- ✓ 日繰り資金繰り表の活用については、実務の現場において**経験の浅い職員でも実践できる、理にかなった手法**だと思います。管理会計の考え方とともに、活用していきたいと思っています。
- ✓ **銀行はやはりITリテラシー/ITガバナンスというものが遅れており**、今後顧客と対話を進めていく上でも必要な取組みである事を認識しました。
- ✓ 冒頭の**日下室長のお話はメッセージ性が強く印象に残る内容**でした。
- ✓ 「償却・引当」の実務に関連しては、今後従来ルールが通用しないことから、改めて金融**検査マニュアル廃止の意義を組織的に考え直さなければならない**と痛感しました。

今後の講座への要望

- ✓ オンライン形式でのセミナー開催は、参加の敷居が低いので、**今後もぜひオンライン形式**で実施していただければと思います。
- ✓ 難しい面はありますが、質疑応答など、**双方向のディスカッションが図れば**良いのではないかと思います
- ✓ 時間を短時間にし、その分回数を増やす等の対策をしていただいた方が、仕事との調整もつけやすく、気軽に参加しやすいと感じました

希望するテーマ

- ✓ 事業性評価の手法・実際の事例研修
- ✓ 事業性評価を現場と事業者に浸透させる手法と実例
- ✓ アフターコロナの取引先支援
- ✓ 金融機関のITガバナンスについて
- ✓ 金融機関同士の活発な情報交換の場の提供や取り組み事例の紹介
- ✓ お客様が金融機関に何を求めているかという目線で情報交換できるテーマ
- ✓ 水野先生がセミナー講師ならば是非参加したい。

- 近畿財務局ちほめんでは、地域経済の活性化に資する取り組みを引き続き企画・検討し、実行にうつしていきたいと思っています。
- 今回頂戴したアンケートでのご意見を踏まえ、また、地域の様々な方の声を聴き、次の企画に反映していきたいと思っていますので、地域課活性化に関するご要望がございましたら、お気軽に下記へ問い合わせいただければと存じます。

地域活性化に関する御要望がございましたら、
お気軽にお問い合わせください。

近畿財務局総務課企画係
06-6949-6390

ちほめんNEWSのバックナンバーは以下の
URLからご覧になれます。

<https://lfb.mof.go.jp/kinki/chiiki.html>

